

救急件数が 6,124 件・火災件数は 65 件

天草広域連合消防本部

＝令和元年中の火災・救急の概要【速報値】＝

消防本部警防課では、天草管内における令和元年中の火災、救急の概要【速報値】をまとめました。
() は平成 30 年の数値

■ **火災件数**は、前年より 2 件減の 65 件(67 件)となりました。

種別で見ると、「建物」火災が 34 件(26 件)、枯草やごみ等が燃える「その他」火災が 21 件(28 件)、「車両」火災 5 件(4 件)、「林野」火災 2 件(9 件)、「船舶」火災 3 件(0 件)、「航空機」火災 0 件(0 件)となっています。

火災による死者は 1 人(1 人)、負傷者は 14 人(5 人)でした。

出火原因の主なものは、枯草火災等の種別に分類される「たき火」が 19 件で最も多く、「こんろ・かまど」が 4 件、「電気配線」が 9 件、「その他・調査中」が 20 件となっています。

いずれも屋内外における火気取扱いの不注意が大部分を占めています。

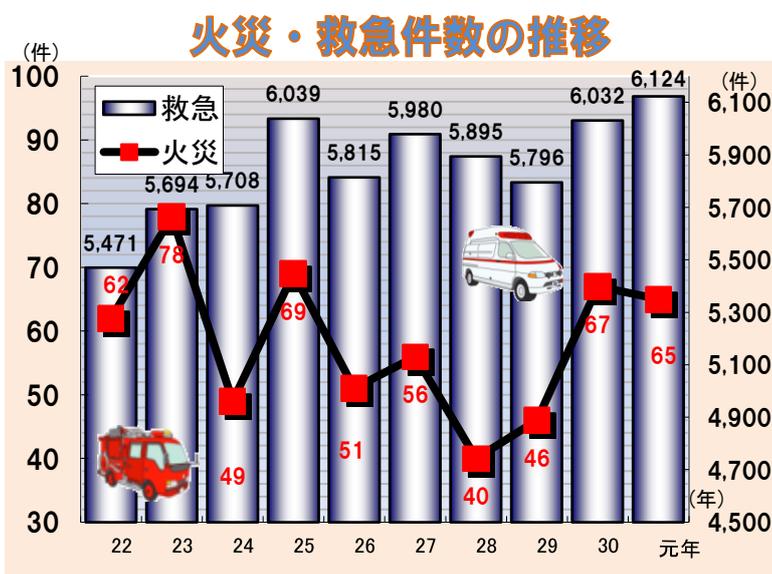
■ **救急件数**は、6,124 件(6,032 件)発生し、前年より 92 件の増と過去最高の件数となりました。

種別の上位は急病が 3,768 件(3,591 件)、転院搬送等が 850 件(834 件)、一般負傷が 920 件(961

件)、交通事故が 357 件(421 件)の順であり、急病が全体の 61.5%(59.1%)を占めています。このうち夏の酷暑の影響による熱中症(疑い含む)は 100 件(170 件)ありました。

搬送人員は、5,423 人で年齢構成別に見ると 65 歳以上の高齢者が 3,988 人(3,912 人)で全体の 70%以上を占め、全国平均 59.4%(平成 30 年統計)と比較するとかなり高く、管内における高齢化・核家族化の影響がうかがえます。

■ **ヘリの出動件数**は、72 件(51 件)と昨年より 21 件増加しています。病院間搬送での出動件数が 20 件(21 件)、救急現場付近へ直接出動した件数が 52 件(30 件)となっており、救急現場から搬送された傷病者のうち 6 件(5 件)は天草管内の医療機関に搬送されています。



熊本県防災消防ヘリ



ドクターヘリ